

JHL NEWS

No.15

2017年1月30日

●発行●
日本ハンドボールリーグ機構
会長 多田 博

東京新宿区本塩町23 第2田中ビル7F
電話 03-6709-8980

上位陣が危なげなく勝利！ 広島は三重に競り勝つ

～第41回日本ハンドボールリーグ・第15週～

第41回日本ハンドボールリーグ・第15週は広島などで女子3試合が行われ、飛騨高山ブラックブルズ岐阜の挑戦を退けた北國銀行が開幕からの連勝を13と伸ばしたほか、2位のオムロンもHC名古屋に順当勝ちした。6勝6敗同士の広島メイプルレッズ-三重バイオレットアイリスの一戦は終盤に混戦を抜け出した広島が貴重な勝利。次週も広島、岐阜で女子3試合が組まれ、プレーオフ圏内でのしごを削るソニーセミコンダクタマニュファクチャリング-三重戦の行方に注目が集まる。オムロンは広島戦をものにすれば北國に続いてプレーオフ進出が決まる。

28日広島での広島-三重は、プレーオフに向けて負けられない両者の闘志が火花を散らし、スタートから1点を争う激しい攻防が続いた。笠木の先制点で好スタートを切った広島がGK板野の好守もあって15分まで6-4と先行。一方の三重も池原の連打で19分に6-6と同点に追いつくと、23分には万谷の好打で逆転に成功した。しかし、27分過ぎから李美京のポストパスやロングシュートで流れを変えた広島が再び優位に立ち、8-7と勝ち越して前半を終了。後半に入り、広島は笠木の7mスローに続いて高山の2連取で追い打ちをかけ、GK板野の7mスローやポストシュートのシャットアウトもあり6分12-8とし、その後も有利に試合を進めた。15分過ぎから原、万谷らの4連打で14-14の同点に並んだ三重だったが、このあと攻撃の決め手を欠いてペースダウン。23分過ぎから高山らの3連打でスパートをかけた広島が終盤にも李らで追加点を奪い、19-15で逃げ切った。

熊本のオムロン-名古屋は、スピードを生かした攻守を持ち味とする名古屋が丸山のミドルで先制したのに対し、オムロンは素早いパス展開から両サイドで応戦して逆転すると、東濱のミドルシュートや永田のポストシュートなどで加点して11分5-2と先行した。一方、オムロンの速い詰めのディフェンスに苦しんでいた名古屋も中盤以降はライン際に走り込んで攻撃の突破口を開き、高宮のミドルシュートなどで2点差まで追い上げて前半を折り返した。後半は互いにセットディフェンスを崩せず一進一退の攻防が続いたが、19分過ぎからオムロンが澤田のサイドシュートや松尾の7mスローなどで4点を連取して22分18-11と7点リード。名古屋も中屋敷、吉田らで最後まで諦めずに食い下がったが勝機を見出すまでに至らず、21-14で勝利したオムロンが10勝目をあげた。

29日富山での北國-飛騨高山は、飛騨高山が松本(淑)で先制点を奪ったのに対し、すぐさま北國も石野で応戦。その後は一進一退が続いたが、7分過ぎに初めてリードを奪った北國が後藤らの活躍で12分9-6と混戦を抜け出し、さらに塩田のカットインなどで得点を加え14-10と4点差をつけて前半を終えた。後半に入ると鯨場の得点から7連取した北國が一気のスパート。飛騨高山も10分過ぎによく金恩恵が得点したが北國の堅いディフェンスを攻め切れず、少しずつ点差が広がっていった。北國は中盤以降も横嶋、河田らで着実に加点。飛騨高山も田口の好セーブなどで必死に食い下がったが得点ペースが上がらず、後半20-6と圧倒した北國が18点差をつける危なげない戦いぶり女王の貫禄を示した。



㊦北國・角南㊧広島・石田㊨飛騨高山・田口

第16週の日程

2月4日(土)	広島	中区スポーツセンター(広電広電本社前駅へ徒歩3分)	13:00~	(女)	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング × 三重バイオレットアイリス
			15:00~	(女)	広島メイプルレッズ × オムロン
2月5日(日)	岐阜	飛騨高山ビッグアリーナ(JR高山駅からバス(のらまいカー-西線)「ビッグアリーナ前」下車)	13:00~	(女)	飛騨高山ブラックブルズ岐阜 × HC名古屋

<p>◆ 1月28日(土) 女子 広島・中区スポーツセンター</p> <p>広島メイプルレッズ 19 (8-7) 15 三重バイオレットアイリス 6勝0分7敗</p> <p>7勝0分6敗</p> <p>K 高 森 山 根 K <0/1> 1/ 2 角 屋 伊 藤 0/ 0 0/ 0 青 山 藤 藤 0/ 3 1/1 0/ 0 村 田 加 近 藤 0/ 0 1/ 6 眞 継 佐 野 0/ 0 0/ 1 堀 角 南 0/ 1 1/1 3/ 5 笠 木 河 嶋 2/ 4 0/ 0 塩 見 岩 多 K <0/1> 1/ 4 門 田 花 村 1/ 4 0/ 0 石 田 万 谷 4/ 9 <1/3> K 板 野 原 2/ 3 1/2 0/ 0 國 廣 池 原 4/ 8 0/ 0 塩 山 森 本 0/ 0 5/ 5 高 山 細 江 0/ 1 0/ 0 加須屋 1/1 6/10 李美京</p>	<p>◆ 1月28日(土) 女子 熊本・人吉スポーツパレス</p> <p>オムロン 21 (9-7) 14 HC名古屋 2勝0分11敗</p> <p>10勝0分3敗</p> <p>K 山 中 中 中 1/ 2 3/ 6 澤 田 馬 場 0/ 0 0/ 0 相 澤 笠 原 1/ 8 0/ 0 松 本 丸 山 3/16 0/ 0 小 林 吉 田 4/ 4 0/ 0 小 館 竹 内 0/ 0 2/2 2/ 5 松 尾 高 宮 1/ 5 1/1 4/ 5 永 山 下 2/ 8 0/ 0 山 田 水 安 齋 1/ 2 0/ 3 石 井 瀧 澤 K <0/1> <0/1> K 宮 連 川 塚 K <0/1> 5/10 勝 連 俣 塚 0/ 2 川 俣 塚 1/ 1 末 吉 石 K 白 吉 4/ 6 東 濱</p>	<p>◆ 1月29日(日) 女子 富山・アルビス小杉総合体育センター</p> <p>北國銀行 34 (14-10) 16 飛騨高山ブラックブルズ岐阜 1勝0分12敗</p> <p>13勝0分0敗</p> <p>K 寺 田 比嘉桃 3/ 4 2/ 2 田 邊 宮 崎 2/12 2/ 3 鯨 場 池之端 0/ 2 1/ 3 角 南 比嘉美 0/ 0 3/ 4 塩 田 中 村 0/ 0 2/ 3 石 野 松本淑 7/12 3/ 5 大 山 船 坂 0/ 0 1/ 1 永 藤 廣 田 0/ 1 3/ 3 後 藤 和 田 0/ 1 0/ 1 翁 長 山 中 0/ 0 K 茶 團 松本知 K <0/3> 3/3 6/ 9 横 嶋 金恩恵 2/ 5 7/11 河 田 田 口 K K 橋 本 友 野 0/ 0 0/ 0 八 十 島 田 中 1/ 4 1/ 1 深 陣 野 1/ 3</p>
2/2 17/33 3(FPP)6 13/33 2/3	2/2 19/38 11(FPP)4 13/45 1/1	3/3 31/46 4(FPP)9 16/44 0/0
(シュート阻止率) 0.000 0/ 0 高 森 山 根 10/22 0.455 0.480 12/25 板 野 岩 見 0/ 0 0.000 0.000 0/ 1 花 村 1/ 6 0.167	0.625 20/32 山 中 瀧 澤 10/24 0.417 0.000 0/ 0 宮 川 戸 塚 2/ 7 0.286 0.000 0/ 1 石 川 石 塚	0.484 15/31 寺 田 田 口 松本知 0/ 9 0.000 0.000 0/ 0 茶 團 田 口 6/28 0.214 1.000 2/ 2 橋 本 友 野
0.480 12/25 (GK) 11/28 0.393 審判 (佐々木・馬場) 観客 545人	0.606 20/33 (GK) 12/31 0.387 審判 (前上里・知念) 観客 542人	0.515 17/33 (GK) 6/37 0.162 審判 (桶家・魚川) 観客 814人

選手登録情報

(ソニーセミコンダクタ)

No.4 田村美沙紀 1994.10.10 165cm
57kg 右 岩国レインボーキッズ→岩国中→華陵高→筑波大

No.5 岩崎成美 1994.06.04 165cm
54kg 両 リトルガッツ→岐陽中→華陵高→筑波大

No.9 山本奈津希 1994.09.02 165cm
67kg 右 日吉台バード→富里北中→昭和学院高→日本体育大

※ 出場可能日：1月28日

(北陸電力)

No.30 川島悠太郎 1994.08.08 183cm
75kg 右 木田ブルーロケット2000→明倫中→福井商業高→早稲田大

※ 出場可能日：2月11日

(北國銀行)

No.20 秋山なつみ 1994.07.23 161cm
61kg 左 洛北高→大阪体育大

No.21 松本ひかる 1995.02.25 167cm
64kg 右 華陵高→大阪体育大

No.23 佐々木春乃 1995.02.26 172cm
64kg 右 高岡向陵高→大阪体育大

※ 出場可能日：2月4日

(湧永製薬)

No.4 助安功成 1994.08.06 185cm
90kg 右 平田中→岩国工業高→大阪体育大

※ 出場可能日：2月11日

第8回チャレンジ・ディビジョン

(Bブロック)

1月29日奈良・生駒市民体育館

H C 彦根 36 (17-8) 20 HSV Herausforden
19-12

ポンチフェローズ 33 (19-14) 25 HC-MKA奈良
14-11

H C 同志社 24 (12-8) 19 SOCIO OSAKA
12-11

H C 和歌山 28 (16-7) 16 八光自動車工業
12-9

女子個人ランキング 第15週終了現在

得点王

- 1 横嶋 彩 (北國銀行) 72 点 (13試合)
- 2 笠木 美希 (広島メイプルレッズ) 56 点 (13試合)
- 3 河田 知美 (北國銀行) 53 点 (13試合)
- 4 藤田明日香 (ソニーセミコンダクタ) 50 点 (12試合)
- 5 松尾 祐依 (オムロン) 48 点 (13試合)
- 5 高山 智恵 (広島メイプルレッズ) 48 点 (13試合)
- 7 池原 綾香 (三重バイオレットアイリス) 47 点 (13試合)
- 8 多田 仁美 (三重バイオレットアイリス) 46 点 (13試合)
- 9 川村 杏奈 (ソニーセミコンダクタ) 42 点 (12試合)
- 9 金 恩恵 (飛騨山ブラックブルズ岐阜) 42 点 (13試合)

フィールド得点

- 1 河田 知美 (北國銀行) 53 点 (13試合)
- 2 横嶋 彩 (北國銀行) 49 点 (13試合)
- 3 高山 智恵 (広島メイプルレッズ) 48 点 (13試合)
- 4 池原 綾香 (三重バイオレットアイリス) 47 点 (13試合)
- 5 笠木 美希 (広島メイプルレッズ) 45 点 (13試合)
- 6 藤田明日香 (ソニーセミコンダクタ) 42 点 (12試合)
- 6 川村 杏奈 (ソニーセミコンダクタ) 42 点 (12試合)
- 8 鯨場 雅子 (北國銀行) 39 点 (13試合)
- 8 松尾 祐依 (オムロン) 39 点 (13試合)
- 10 澤田 智美 (オムロン) 38 点 (13試合)
- 10 勝連 智恵 (オムロン) 38 点 (13試合)
- 10 多田 仁美 (三重バイオレットアイリス) 38 点 (13試合)

シュート率

(フィールド得点ベスト10を対象)

- 1 藤田明日香 (ソニーセミコンダクタ) 42点/65射0.646
- 2 澤田 智美 (オムロン) 38点/59射0.644
- 3 河田 知美 (北國銀行) 53点/87射0.609
- 4 池原 綾香 (三重バイオレットアイリス) 47点/78射0.603
- 5 鯨場 雅子 (北國銀行) 39点/65射0.600
- 6 勝連 智恵 (オムロン) 38点/66射0.576

- 7 横嶋 彩 (北國銀行) 49点/98射0.500
- 8 川村 杏奈 (ソニーセミコンダクタ) 42点/89射0.472
- 9 高山 智恵 (広島メイプルレッズ) 48点/102射0.471
- 10 松尾 祐依 (オムロン) 39点/89射0.438
- 11 多田 仁美 (三重バイオレットアイリス) 38点/92射0.413
- 12 笠木 美希 (広島メイプルレッズ) 45点/125射0.360

7 m スロー得点

- 1 横嶋 彩 (北國銀行) 23 点 (13試合)
- 2 原 希美 (三重バイオレットアイリス) 12 点 (12試合)
- 2 吉田 起子 (オムロン) 12 点 (8試合)
- 2 加藤 夕貴 (三重バイオレットアイリス) 12 点 (13試合)
- 5 笠木 美希 (広島メイプルレッズ) 11 点 (13試合)
- 6 高宮 咲 (HC名古屋) 10 点 (13試合)
- 6 金 恩恵 (飛騨山ブラックブルズ岐阜) 10 点 (13試合)
- 8 松尾 祐依 (オムロン) 9 点 (13試合)

シュート阻止率

- (フィールドシュートを受けた数が、7位以内のGKを対象)
- 1 寺田三友紀 (北國銀行) 188本/374射0.503
 - 2 板野 陽 (広島メイプルレッズ) 204本/437射0.467
 - 3 山根エレナ (三重バイオレットアイリス) 115本/252射0.456
 - 4 山中絵里奈 (オムロン) 131本/289射0.453
 - 5 飛田季実子 (ソニーセミコンダクタ) 88本/214射0.411
 - 6 瀧澤 瞳子 (HC名古屋) 111本/72射0.408
 - 7 田口 舞 (飛騨山ブラックブルズ岐阜) 165本/414射0.399

7 m スロー阻止率

- (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKを対象)
- 1 宮川 裕美 (オムロン) 7本/21射0.333
 - 2 瀧澤 瞳子 (HC名古屋) 5本/16射0.313
 - 3 田口 舞 (飛騨山ブラックブルズ岐阜) 3本/13射0.231
 - 4 板野 陽 (広島メイプルレッズ) 6本/34射0.176
 - 5 網谷 涼子 (ソニーセミコンダクタ) 2本/12射0.167
 - 6 松本 知佳 (飛騨山ブラックブルズ岐阜) 2本/16射0.125

※男子ランキングはNo.12 参照

第41回日本ハンドボールリーグ成績表

第15週第2日目終了 1月29日

順位	男子	大同特殊鋼		トヨタ車体		大崎電気		湧永製薬		琉球コラソン		豊田合成		トヨタ自動車東日本		トヨタ紡織九州		北陸電力		試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差		
		○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●										
1	大同特殊鋼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	10	1	1	21	322	281	41
2	トヨタ車体	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	9	0	2	18	330	282	48
3	大崎電気	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	7	2	2	16	294	269	25
4	湧永製薬	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	6	2	3	14	276	273	3
5	琉球コラソン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	6	1	5	13	348	336	12
6	豊田合成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	5	1	6	11	323	314	9
7	トヨタ自動車東日本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	3	2	6	8	297	293	4
8	トヨタ紡織九州	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	1	1	10	3	275	337	-62
9	北陸電力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0	0	12	0	277	357	-80

順位	女子	北國銀行		オムロン		広島メイプルレッズ		三重バイオレットアイリス		ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング		HC名古屋		飛騨高山ブラックブルズ岐阜		試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●								
1	北國銀行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	13	0	0	26	352	216	136
2	オムロン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	10	0	3	20	286	237	49
3	広島メイプルレッズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	7	0	6	14	254	262	-8
4	三重バイオレットアイリス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	6	0	7	12	267	272	-5
5	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	6	0	6	12	241	258	-17
6	HC名古屋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2	0	11	4	226	304	-78
7	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	0	12	2	208	285	-77

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。